



皆さん、はじめまして。4月から今津教室で非常勤講師をさせていただいている佐藤大祐(さとうだいすけ)です。私は中学二年から受験まで開智でお世話になりました。そして、大学生となり、教える立場になったことで中学時代に「こうしていれば良かった」と思うことがいくつかあるので、そのうちの1つを伝えようと思います。それは「スケジュールシートの活用の先」です。私が開智に通っていた時もスケジュールシートがありました。しかし、私は提出があったので「計画」を立てることはできませんでしたが、実際に「計画」通りに進むことはありませんでした。私と同じような子を開智でよく見かけます。それを解消できる方法は「今日をもう一

度やり直せるならば」を考え、書くことです。今日のスケジュールを見直すんです。「スケジュール」通りに進みましたか?その通りに進んだならば、見直すその時間にも自己効力感(自分ではできる!感)は高まります。その通りに進んでいないならば、「もう一度やり直せるならば」を考えましょう。なぜその通りに進まなかったのでしょうか? ●そもそも、その時間にできる「量」の把握が間違っていないですか? ●スマホ、インターネットとの付き合い方はどうでしたか? ●音楽を聴きながら、何か動画を流しながら進めませんでしたか? 「英単語30個覚えるのに30分ではなく、スケジュールに40分取ってあれば満点が取れた。」このような形です。毎日の「やり直せるならば」は書けば書く程、自分の勉強の量の精度が高まっていきます。もし「計画」の精度が高まれば、受験期な

どに1ヶ月の「計画」を立てる時も無謀なものになることを防げます。これを続けると曜日によっての勉強の進め具合が変わってくることも分かります。『週末に近づくと、疲れがたまるから「量」はそれ程できないなあ。』『部活のある日の進め具合と、部活の無い日の進め具合は変えないといけないなあ。』などです。そのためにはやはり書かないといけません。その時の「気づき」「思考」をいつでも呼び戻せるようにしておくのです。そして最後にこれは「反省」ではありません。反省を書くと、どうしても心はマイナスに引っ張られてしまいます。そうではなく、「明日は絶対に成功する!」というプラスの気持ちで書いてください。そうすることで勉強が良い方向に進んでいくはずで、ぜひ試してみてください。



## ルイージのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE ルイージ・イルストレ(かいち学童)

### 私の内に誕生した『父親の愛』

私の父は今年の4月、病に倒れてこの世を去っていきました。その時、私の妻は妊娠中でした。私は4人兄弟の長男ですが、父親としての育児について色んなアドバイスを聞いてみたり、またどういう風に思うのか、父親とはどういうものなのか、もうすぐ娘が生まれてくるのに、その事を聞けないまま父が亡くなり、会えなかった事が本当に残念でした。

しかし「神様は私達に良いことしか与えない」という信仰を持って前向きに生きていこうと決めました。神様は私達を色んな状況下に置かれます。大事なことは、神様は良いことしか与えないという事を信じるのかどうか?

この1年の間に、私は結婚をして、父を亡くして、9月には娘が生まれました。どんなことが起きるとも限らず、すべては良いことだと思いつつながら娘の誕生を迎えました。病院ではコロナ対策のため、立ち合い出産はできませんでしたが、看護師さんが妻の出産中にビデオコールできるように携帯電話をセットアップしてくれました。陣痛が強くなってきていた時、痛みには耐えられない妻の姿を見てどれほど感動したことか、自分でも気付かないうちに私は泣いていました。尊敬する妻は私より強く、娘が生まれる迄すべてに耐えられるよう頑張ってくれました。生まれてきた娘の初声を聞いた瞬間、「もう父親

だ!」「これからもっと楽しいぞ!」先生も「この子の声は大きいなあ!」と喜んでくれました。カメラには妻の顔だけが写り、子供の顔や体、どんな赤ちゃんかはまだハッキリとはわかりませんでした。ただ、泣き声を聞きながら、「間違いなく私の子だ」と確信しました。その後も早く見たいのに、時間が経っても妻に赤ちゃんを抱かせず、見せてもいないので「どうした?」「何か問題がありますか?」と妻に尋ねました。実は妻は24時間近く陣痛が続いたので陣痛促進剤を打ちました。長いお産だったので赤ちゃんがおなかの中で羊水をたくさん飲み込み、そのせいで十数回も吸引されたのだそうです。それでようやく、娘が妻に渡されました。泣き止まない娘を見ながら、私は何でもない者なのにこんなにも尊い子を授かり、心から神様に感謝しました。そして、その時から色々とわかってきました。

親が子供を思っている育児に、正しい間違いもありません。親の心は子供のためならずして良い事に繋がるのだと。学童を担当させてもらっていますが、大勢の生徒と長い時間を共に過ごします。生徒達の性格はそれぞれ違いますが、「どうやって育ててきたのかな?」とたまに思ったりします。かいち学童で今まで愛情たっぷりに子供たちと接してきましたが、これからは『父親』としての心も加えて子供た

ちを指導していこうと思います。

親とは簡単なものではありません。子供が生まれてから休みなく面倒を見て、育児も考え続けなければなりません。子供が大人になっても、親は死ぬまで親であり、いつだって子供たちの事を考えます。最近の我が家の様子は、娘メインで寝る、母乳を飲んで、おむつを交換して、泣いての繰り返しですが、娘が我が家を爽やかな雰囲気してくれています。父親であることは、楽しさだけでなく難しさも伴います。私は娘をこの世界に備える父親になりたいのではなく、私の子供達のためにこの世界を備える父親になりたいと思います。必ず、神様が子供を育てる知恵を与えてくださると信じています。娘の育児を考えると、私には不足している部分がたくさんありますが、神様は良いことしか与えないという信仰を持って娘を育て家庭を守っていきたくと思います。



私たちの愛しい娘、エリルイです。エリはママの名前「Berry →Eri」ペリーに由来し、日本語で「恵み」を意味します。おじいちゃんニックネーム「Louie」から、彼を偲んでLuiを取りました。私たちは、日本語で「偉大さ」を意味する私の【Luigi →Lui】からつづりをとることにしました。エリルイと組み合わせると、「大いなる恵み」を意味します。



【本 部】  
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201  
TEL.06-6939-0008

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662  
【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984  
【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722  
城東区成育 5-22-10-2F  
TEL.06-6786-1008  
【エニグマ】  
中央区谷町 9-4-5-3F  
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000  
【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117  
【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467  
【カイチ予備校】  
城東区今福西 1-10-17  
TEL.06-6935-2220  
【万緑会】  
天王寺区上本町 6-9-10-3F  
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

## 期末テストに向けて その学習法は合ってる?!



中3生は追い込み時期。  
みんな頑張ってます!

いよいよ11月。受験生は本格的な追い込みに入ってきました。連日のテストによるテスト。順調に推移していれば良いですが、テストが返却されるたびに気持ちが浮き沈みし一喜一憂してしまうのではないのでしょうか。でも、こんな時こそ、先のことを考えるのではなく足元を見る。テストの結果で「志望校に行けないのでは?」「不合格になるのでは?」と不安になるのではなく、今日すべきことに集中してください。心配すればするほど皆さんの学力が伸びるのならどんどん心配すればいいと思います。でも、皆さんの学力を伸ばすのは「今ココ」の努力です。不安になって立ち止まりそうな時は、「エイ!」と気力を振り絞って机に向かう。そして、すべきことをしたら、「大丈夫」と口に出してぐっすり眠ってください。「今ココ」の努力を重ねる。その積み重ねの先に必ず、合格はあります。

中1・中2の皆さんは、2学期の中間テストが終わりましたが、成績はどうでしたか? 「良かった!」と言える人もいますが「イマイチだった」人も多いのではないのでしょうか。中1は学習内容が本格的に難しくなり学年平均が大きく下がりました。よって、テストの点数が下がった人が多いはず。また、中2は数学では連立方程式の応用、一次関数、英語は不定詞、理科では天気や電流など、中学学習内容屈指のつまづき箇所のオンパレードです。またクラスやクラブなど環境にも慣れ、中だるみの時期でもあります。

ただ、これはチャンスでもあります。周りを見ると、やはり「勉強嫌だな・・・」と言っている友達がいるのではないのでしょうか。皆さんがそのように感じるということは、他のみんなも同じように感じているのです。だから、あえて頑張ってみる。むしろ、やってやろうと気持ちを切り替えるだけで、大きな飛躍のチャンスになります。

でも、ここで重要なことが「学習方法」。いくらやってみようと思っても正しいやり方で勉強しなければ成果は出ません。11月下旬から始まる期末テストに向けて、今回のGROWINGでは各教科の学習方法について書いていこうと思います。

<数学>  
テスト範囲の学校のワークを間違い直しまできちんとやってください。ここで重要なのは「質問」です。先生の経験で絶対的に言えることは、質問する子は必ず伸びます。理解できるまで諦めずに質問すること。そして、質問した問題は一人で解けるように練習することがポイントです。次に塾で演習する学校の過去問題の点数を付け、何点取れるか確認してください。ここでも間違い直しと、質問を徹底すること。数学は、学校のワークと過去問題の演習、間違い直し、質問の徹底で必ず伸びます。

<英語>  
まず塾の単語テストで、テスト範囲の単語を覚えさせます。どうしても単語が覚えられない人は先生に相談してください。次に塾の「本文プリント」。本文プリントはUNIT毎に演習しますが、演習前に該当UNITの塾ノートをしっかり読み、間違えそうなところを色ペンでチェックしながら、すらすら和訳できるまで読み込ん

てください。(和訳が上手くできない人は先生に相談すること。)この時、ノートの読み方が甘い人が多い。きちんとノートを読み本文プリントを×3コマまで徹底的にやることで英語は伸びます。これらができた人は学校のワークや、特に塾ワークの「ユニットのまとめ」で何点取れるかを確認します。ここでも、間違い直しと質問が大切です。

<理科・社会>  
まずは、一問一答です。一問一答は1ページごとに丸付け、間違い直しをして、そのページの問題を1から解いて満点になって初めて次のページに進みます。この時、先生が気になるのは一問一答を理解せずに丸暗記している生徒がいることです。このような人は絶対に成績が伸びませんのでやめてください。内容が理解できないのなら、該当箇所の塾のテキストや教科書で調べる。もしくは先生に質問して解決すること。この要領で、丁寧に1ページごとに学習し1冊終了したなら、最後に1冊を通してテストをしてみましよう。1冊で×が5個以内なら合格です。ここまで学習ができたなら、学校の問題集や過去問題をドンドン解き、暗記した知識を定着させ、繋いでいきます。この作業は一問一答集暗記より楽ですが、効果はスゴイ。解けば解くほど、100点に近づいていきます。一問一答で丁寧に解き、仕上げの問題集・過去問題演習。ぜひ試してください。

<国語>  
国語は学校の先生の主観でどこが出题されるかは様々です。そこで効果的なのが、学校の先生のノートを教科書に書き込むことです。すると、書き込みが多い箇所が、先生が力を入れて教えた場所ですので出題箇所が一目瞭然になります。このようにノートの内容を書き込んだ教科書をテストまでに5回以上は読みましよう。(できれば声に出して。ノート箇所は先生になったつもりで説明するように)読んだ後は該当箇所の塾の本文プリントを解きます。本文プリントで間違えた箇所は、また教科書に解説を書き込みます。こうやって教科書を自分オリジナルの参考書に育てながら、その教科書を読みこむのがポイントです。もちろん、テスト範囲に書かれている学校の漢字プリントや文法プリント、国語便覧類もしっかり確認しておきます。

このGROWINGが出る頃にはちょうど定期テスト2週間前の3時間自習が始まる頃だと思えます。「あーあー、テスト前かー」という気持ちもあるかもしれませんが、「いっちょ、この2週間、本気で頑張ってみよう」と気持ちを切り替えてみてください。たった、2週間。テストが終われば思い切り遊ぼうが、ゴロゴロしように構いません。でも、この2週間は我慢してみてください。そうすると、1日1日、勉強を重ねることに静かな充実感とともにやる気が湧いてきます。今の子は無気力だとよく言われますが、無気力な子なんて実はいません。大切なことは、「いっちょ、やってやろう」と腰を上げてみることです。正しいやり方で学べば必ず成果は出ます。先生達も、そんな皆さんを、全力でバックアップします。たかだか2週間、でも2週間が自分を大きく変えるきっかけになるかもしれません。

### カイチからの お知らせ

- 11月上旬より期末模擬テストを各教室で実施します。
  - 11月13日(日)は中学3年生対象の五ツ木模試が実施されます。
  - 12月3日(土)に珠算競技大会を実施します。代表に選ばれたみんなは教室の代表としてがんばってください。
  - 11月28日(月)・29(火)は小学部の診断テストの予定です。
  - 受験生にとって大切なテストが続く中、コロナウイルス患者数の増加が心配です。マスクに手洗い、うがいを徹底していきましょう。インフルエンザ予防接種も忘れずに。
- <受験生を持つ保護者の皆様へ>  
11月はテストが続く、精神的に不安定になる生徒達も出てくる時期です。心配やご相談がある時は、遠慮なく各教室にご相談ください。

# Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

## 生徒と先生が、 一緒に成長していける教室

山本 真義 (高殿教室)

皆様こんにちは。高殿教室の山本です。  
以前、GROWINGの先生紹介ページに自己紹介を掲載いただいて早4か月、業務にも慣れてきました。その一方で、毎日いろいろな発見があり、いつも新鮮な気持ちで過ごしています。今回は、高殿教室の生徒たちの、学習の様子についてレポートさせていただきます。



育ち盛りの生徒たちと過ごす「教室」という場所は、状況が日一日と変わっていきます。より良い教室をつかっていくためには、先生も、生徒に負けたくない日々成長していくことが必要なのだと、子供たちを見ていると気付かされます。生徒の皆さん、これからも、一緒に頑張っていきましょう！

# Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

## 2025年度大学入試はどう変わる？

熊谷 真宏 (カイチ予備校)